

銀剣のステラナイツ

ワールドセッティング：墜星のナヴィガトリア用シナリオセッティング

# 「あかつきの騎士女王」



イラスト：神威なつき

## シナリオセッティング 「あかつきの騎士女王」

ワールドセッティング  
ナヴィガトリア

セッション形式  
ナヴィガトリア

推薦する設定  
特になし

このシナリオセッティングでは、ロアテラの復活によってアーセルトレイの全ての階層が新世界に上書きされてしまった後の物語を遊ぶことができます。

ステラナイトたちは、「騎士女王領あかつき」という、現代によく似た世界の領民としての配役を与えられています。

この世界で女王に仕える騎士たちは、外敵と戦う任務を帯びています。外敵とは、世界を取り戻さんとするステラナイトたちです。

新世界でステラナイトたちがどのような役割を与えられていたかは、「配役の決定」から自由に決めることができます。  
演じやすいものをふたりで相談して決めましょう！  
世界の情報を読むと、配役のイメージがより浮かぶかもしれません。

### 幕間からも始められる物語

このシナリオセッティングでは、全てのステラナイトが配役を騎士団領あかつきに攻め入ってくる「外敵」とすることで、幕間から物語を始められます。

別の「新世界」を解放したステラナイトや、誓約生徒会のメンバー、異世界から召喚された騎士たちなどが、後述する巨大な「新世界」を解放するための作戦に加わっている、という設定にするとよいでしょう。

幕間から始める場合、変身シーンをそれぞれに描いた後、「騎士女王領あかつき」へと進撃を行います。

### とある騎士と、その最期

彼女は誇り高き騎士だった。

偉大な騎士が君主となって統治する騎士領。

その第一の騎士として国家に尽くしてきた彼女は、不穏な動きがあれば誰よりも早く察知し、どのような民の問題も真っ先に解決していた。

同胞は彼女を愚直と笑い、その生真面目さを揶揄した。

それでも情熱は揺らぐことなく、彼女は国と民に身を捧げ続けた。

そう、彼女は誇り高き騎士だった。

理を超越し現れたロアテラの顎に、彼女の守るすべてが、そして自分自身が呑み込まれる瞬間まで。

### 騎士女王の誕生

守れなかった。

捧げたものでは足りなかった。

否、捧げていはいけなかつた——全てを奪い、その上に自らが君臨することこそが、本来あるべき姿だった。

時間も感覚もない場所でただ悔恨と嫌悪にその身を灼いた彼女は、ロアテラに世界を再誕させる力を願い、シリウスナイトとなりました。

「新世界」は、ロアテラによって喰われる前の状態で再誕しました。

目指すのは、慣習と惰性によって保たれてきた平和ではない——彼女は、自らの理念を共有しようとしている同僚を力でねじ伏せ、君主を姦計をもって玉座から引きずり下ろしました。

そして、国を守りぬく強固な意志と、そして全てから奪いとるための力を持つ苛烈な君主・騎士女王を頂きにおく国家、騎士女王領あかつきを誕生させたのです。

## あかつきの騎士団

騎士女王はシリウスナイトとして、幼馴染の青年騎士をパートナーとし、「新世界」に残っていたステラナイトとの戦いに勝利しました。

その勢いのまま、彼女は外界へと打って出ます。

しかし、彼女は立ち止まってはいられませんでした。

アーセルトレイには無数の階層があり、どの瞬間であっても外敵によって國の領地が脅かされる可能性があるとわかっていたからです。

國を守るため、「外敵」との戦いに明け暮れ——やがて、いくつかの「新世界」との戦いに勝利した頃に破綻は訪れました。

度重なる戦いの負荷から、パートナーの精神が砕けてしまったのです。

大切な者的心を守れなかったことに深く傷ついた騎士女王でしたが、それでも諦めることはしませんでした。

騎士女王領を守るため、彼女は新たな騎士階級を制定しました。

全ての世界にあかつきもたらす騎士たちを。

## 騎士女王は立ち止まらない

騎士女王は他の「新世界」を侵略し、領土を拡大していました。

そのやり口は苛烈で、打倒した別の「新世界」のシリウスナイトの力の源を「星の原盤」<sup>ライラリ</sup>に似た装飾を持つ剣へと封じ、自身への恭順を誓わせたのです。

そして王城の宝物庫に無数の「新世界」の剣が並んだころには、騎士の全てがシリウスナイト級の力を持つに至っていました。

あかつきの騎士たちは「外敵」、星の騎士による大規模侵攻作戦を2度退けていますが、近々3度目の侵攻があると言われています。

## 力の根源

あかつきの騎士は、シリウスナイトと同等の力を持っています。その理由は、騎士女王自身が全ての騎士のシースだからです。

騎士女王は、パートナーの青年が戦えなくなった後、二度と心を壊す者が出ないよう、自分自身が騎士の力の根源となることを願いました。

そして、ひとつの「新世界」の力を封じ込めた剣を騎士に与え、それを媒介することで、神の領分とも呼べる行いを実現したのです。

あかつきの騎士として叙勲されることは、騎士女王とプリンガーとシースの関係性を結ぶことであり、それはつまり、彼女の願いである、幸福な絶対王政の実現に身を捧げる覚悟を共有する者となります。

だからこそ、あかつきの騎士の敗北は、騎士女王の敗北。

戦いに敗れれば、携えた「新世界」の剣は砕け散り、階層ひとつ分の領土がもとに戻ってしまいます。

騎士たちは、誰しもが自身の敗北が「新世界」騎士女王領あかつきの消滅に繋がることを知っています。

## シリウスナイトの作成

このシナリオセッティングでは、監督は騎士女王に忠誠を誓うあかつきの騎士のひとりとして、「新世界」を奪還せんとする星の騎士たちと戦うことになります。

彼らはシリウスナイトと同等の力を持つ存在であり、「監督と俳優のペア」で演じられるキャラクターです。

作成方法は次ページの変更点以外は（『リラガーデン』P. 145）と変わらず、監督がプリンガーを、その隣の俳優がシースを作成します。

## ★変更点

## ・シリウスナイトのシースについて

ほぼ全ての騎士のシースは騎士女王その人となります。

騎士女王の設定は、次ページの「騎士女王の扱いについて」を参考に監督とそのパートナーを担う俳優が相談して決めてOKです！

ふたりが望むようにロールプレイしましょう。

## ・あなたの物語

エネミーのあなたの物語を以下の表から選ぶようにして下さい。

あなたの物語表（あかつきの騎士）「D 6」	
1	あなたは騎士女王と共に、ロアテラに喰われた世界で騎士として仕えていた。 ふたりの理念は同じであり、長い年月を共に重ねた互いへの信頼は厚い。 あなたのパートナーは、騎士女王その人だ。
2	あなたは騎士女王と共に、ロアテラに喰われた世界で騎士として仕えていた。 だが、女王に恭順しつつ、密かに下克上を狙っている。 あなたのパートナーは、騎士女王その人だ。
3	あなたは「新世界」が上書きした世界の住人でありながら、騎士女王へとはせ参じた新参者だ。古参の騎士たちには快く思われていないが、実力を示せばいい。 あなたのパートナーは、騎士女王その人だ。
4	あなたはかつて騎士女王に挑み、敗れた者だ。 それ以来、騎士女王の手足として、あなたは彼女の領地の繁栄に尽力している。 あなたのパートナーは、騎士女王その人だ。
5	あなたは「新世界」のシリウスナイトとして、騎士女王の侵略に敗北した。 騎士女王はあなたの「新世界」を人質に、あかつきの騎士としての役目を強いている。 あなたのパートナーは、同じシリウスナイトのシースであるが、戦闘時にはあかつきの騎士として騎士女王の力を得ている。
6	あなたはプロキオンだ。 騎士女王に「星の原盤」を奪われ、あかつきの騎士としての役目を強いられている。 あなたのパートナーは、同じプロキオンのシースであるが、戦闘時にはあかつきの騎士として騎士女王の力を得ている。

## 騎士女王の扱いについて

ここまで描かれてきた騎士女王は、強烈な後悔の念に突き動かされ、自らの願いと信念のために何でもする苛烈な女性です。

ですが、監督と俳優がペアを作成する際は、騎士女王の設定は自由に変更できます。

たとえば、騎士女王は苛烈な君主であると言われていますが、ふたりきりの時に見せる顔はまったく違うものかもしれません。

あるいは公に知られている彼女の物語が偽りで、本当は心優しい少女であっても、それこそ「女王」ですらなくても、ふたりが望むなら、それがその世界の真実となります。

遠慮なく、ふたりの好きを詰め込んで、演じたら最高に楽しいであろうペアを作つてみて下さい！

(P.13) からの「黒薔薇の騎士」は、そんなペアの成り立ちの参考例となります。

設定を変える場合、事前にほかの俳優に伝えることをお忘れなく！

## シリウスナイトのロールプレイ指針

シリウスナイトはアーセルトレイを上書きした「新世界」の守護者であり、同時にステラナイトに立ちはだかる敵です。

このシナリオセッティングでは、シリウスナイトは厳密には「騎士女王とあかつきの騎士団そのもの」となります。

監督が演じるあかつきの騎士は、シースである騎士女王とのやりとりや、外敵の侵攻に備えるための準備を行う場面を描くとよいでしょう。

## スタンダード形式風に遊ぶ場合

「空を墜とす日」までシリウスナイトのロールプレイは行いません。

あなたが作ったペアにふさわしい間奏や終奏を用意し、それを各章の間に発表してセッションを盛り上げましょう！

## 幕間から遊ぶ場合

ステラナイトの配役はすべて「外敵」で統一されます。

シリウスナイトは出撃の際のやり取りを中心に行うとよいでしょう。

## ▼配役の決定

## あかつきの騎士

あなたは騎士女王を守り、そして新世界を統治するあかつきの騎士団の一員だ。

外敵と戦うことが一番の任務となるだろう。

## 従僕

あなたはあかつきの騎士を世話する者になっていた。

騎士たちの日常を間近で見たり、その信頼を得ているなら重要な世界の秘密を垣間見ることもあるだろう。

## 領民

あなたは幸福な絶対王政のもと、日常を生きている。

その生活は、現代のそれとほぼ変わらないが、騎士女王に侵略された「新世界」の民なら、その世界独自の文化や外見を持つていてもよいだろう。

## 外敵

あなたはこの世界を滅ぼさんとする存在だ。

「新世界」を脅かす全ての者がこれにあたるだろう。

## 「新世界」の影響を受けていないペアで遊びたい場合

「新世界」の影響を受けていないペア、つまり、正しい意味で「外敵」として認識されているペアで遊びたい場合は、たとえば次のような設定を考えてみるとよいでしょう。

- ・潜入調査で「新世界」に潜りこんでいる
- ・騎士女王によって侵略された「新世界」の住民だった
- ・「新世界」の外で、侵攻作戦の立案や指揮にかかわっている

## 第三次反攻作戦

ふたりの女神と誓約生徒会によって導かれた、ほかの「新世界」を打倒した星の騎士たちによる連合軍です。

二度にわたる敗北から、騎士たちは綿密な作戦を練って、進撃の準備を整えています。

これ以上騎士女王領あかつきの規模が大きくなれば、手が付けられなくなってしまうでしょう。

これは、アーセルトレイの未来のための反攻作戦なのです。

## セッションの構成

監督は以下のタイミングで、今がどんな時期かを提示して下さい。

## ▼序奏

彼女に仕えるあかつきの騎士団は  
外敵を退ける最強の盾であり  
領地を広げる最強の矛であった

そして、彼女の治める國の民は幸福だった  
絶対王政のもと、何一つ怯えることなく暮らせるのだ  
称えよ、偉大なる我らが騎士女王——

しかしあるとき、あなたたちは記憶を取り戻した  
これは、自分のいる世界の日常ではない  
ロアテラにより、世界は上書きされたのだ  
記憶を取り戻したあなたたちの心の中に、女神の声が響く

大地に剣を突き立てよ  
魂の輝きと、感情の暗闇を示す古き世界の剣を  
ふたりの世界を取り戻すために

銀剣のステラナイト  
『墜星のナヴィガトリア』

——これは、世界を終わらせる物語

## ▼プロローグ

描写：幸福な絶対王政。

騎士女王による統治のもと、人々は平和に暮らしている。

解説：それぞれのペアが「新世界」によって記憶を上書きされ、与えられた配役を演じている短いシーンを演出しましょう。

## ▼第一章、第二章「予兆」

描写：外敵による侵攻が近いという知らせが国中を巡る。

しかし、国民の誰も、慌てることなどない。

騎士女王とその騎士団は絶対であり、この国は安全なのだから。

解説：「外敵」とは、「新世界」の外から攻めてくる星の騎士たちです。

それぞれのペアは、幕間までは自由にシーンを演出してください。

## シチュエーション表：騎士女王領「D 6」

1	祝祭：国家の周年を祝して、国全体で祭りが開かれた。
2	平日：平穏で、何事もない、いつも通りの一日。
3	パレード：またひとつ、「新世界」が騎士女王領に併呑されたらしい……
4	制圧：騎士女王への謀反を企む一味が逮捕されたという。
5	巡回：騎士団によるパトロール。市民が歓声を上げ、彼らを出迎えている。
6	外敵：不審な集団を見かける。あかつきの騎士に報告するべきだろうか……？

## ▼幕間

描写：騎士団の配置が完了した。

星の騎士とあかつきの騎士の戦いが、間もなく始まる。

解説：大規模な侵攻作戦がついに実行に移されます。

あかつきの騎士と星の騎士たちによる、三度目の決戦。

配役を強いられていたステラナイトたちも、立ち上がる時です。

監督は、勝利なくして世界は取り戻せないことを示唆してください。

## ▼空を墜とす日

よき戦いを。勝利すれば【反攻の騎士】の勲章を獲得できます。

## ▼カーテンコール

描写：碎けた新世界は、まるで彗星のように降り注いだ。

いくつもの階層が解放され、るべき世界が戻ってきたのだ。

解説：各ペアは、自由にその後の日々を演出しましょう。

## サンプルエネミー「あかつきの騎士・黒色のバラ」

▼ No.1	デュエリスト・ローズ 誇り高き一騎打ち（『リヴラガーデン』P.13）
▼ No.2	フランガーデン・ローズ †薔薇の棘に抱かれよ†（『リヴラガーデン』P.308）
▼ No.3	デュエリスト・ローズ 決闘者の花（『リヴラガーデン』P.13）
▼ No.4	ブラック・ソード 黒き絆めきは刃の如く（『リヴラガーデン』P.50）
▼ No.5	プロム・ダスク・ティル・ジ・エンド 仄暗き契約の色（『リヴラガーデン』P.51）
▼ No.6	はじょうこうげき †波状攻撃†（『リヴラガーデン』P.314）

耐久力  
**16**

防御力  
**3**  
チャージ・ダイス数  
**3**  
+現在のラウンド数



※「舞台の恩恵」（『リヴラガーデン』P.251）で、データを強化して使用してください。

## サンプルエネミーの扱いについて

このエネミーは、表紙のイラストのふたりに見立てたデータです。

自由に花章やスキルを入れ替えて使用することもできます。

また、(P.16)に掲載されている舞台データは汎用的なものであり、このサンプルエネミー専用ではありません。

あなたのあかつきの騎士と一緒にぜひ使ってみて下さい！

## 舞台の選定について

ロアテラに操られた騎士とのステラバトル同様、決戦の舞台は騎士女王の力によっていかようにも変化します。

そのため、それがあなたのあかつきの騎士が望んだ形であるなら、これまでに発表された公式の舞台や、自作の舞台などを使用するのもOKです。

特に、幕間からシナリオセッティングを遊ぶ場合はエネミーを描き切れない可能性があるので、舞台の挙動や描写を通じて、あなたのあかつきの騎士と騎士女王の物語を表現していくと、よりドラマチックな戦闘が楽しめるかもしれません！

## 黒薔薇の騎士

——星の騎士。

旧世界の残滓にして、我らが騎士女王領を害する仇敵。

常に世界を脅かす、恐怖の象徴。

我らが女王陛下は、寛大にも、旧世界の住民にこの世界での記憶と居場所をお与えになった。

だというのに、星の騎士どもは古き記憶を取り戻し、今も騎士女王領を滅ぼさんとしているのだ。

——不敬、実に不敬だ。

だが、女王陛下はそれでも、彼らへの温情を忘れない。

なんと心の広い、お優しい御方だろう。

我が憤怒の心も、あの御方を思えば浄化されていくかのようだ。

しかし、それでも、俺が怒りを忘れるわけにはいかない。

我らはシリウスナイト。

騎士女王領を守護する、最後の砦。

民を守り、子らを守り、そしてこの世界を守る。

それぞれが勇壮なる一騎当千の戦士にして、女王陛下のプリンガーたる最強の騎士団。

我らは夜明けの騎士、夜を斬り裂くあかつきの騎士団。

夜空を彩る星は、必ず夜明けによって打ち倒されるのだ。

——そう、今回だって、きっと。

## 夜明けの終わり

オフィス街を抜けて、そのまま環状線に乗る。

信号ひとつない高架道路は、お気に入りの場所だった。

外側には、我が愛しの黒薔薇領。

守るべき民が暮らす、我が領土。

内側に視線を向ければ、夜明けの陽光に照らされたビルディング群の向こうに、我らが騎士女王の居城がそびえている。

これこそが、俺が守護すべき世界。

命をかけるに値する、愛しき世界なのだと、実感する。

——だが、他の騎士と来たらどうだ。

すでに二度、この領土は星の騎士の襲撃を受けている。

それらを退けはしたものの、手痛い傷を負った騎士もいると聞く。

よくやった、頑張った、そう甘やかすのは簡単だ。

しかし、俺は怒りを覚えている。

畏れ多くも女王陛下と契約を結び、シリウスナイトとなった者が、たかが星の騎士ごときに手傷を負わされるとは！

ふざけるな、ふざけるなよ、ひ弱な騎士どもめ。

騎士女王陛下を、貴様らに任せるわけにはいかない。

俺が、俺こそが、俺だけが、女王陛下に相応しい騎士なのだ！

「眉間にしわがよっているわ、黒薔薇の騎士」

——不意に、目が覚めたような気がした。

涼やかな声は、単車にまたがる俺の真後ろから聞こえた。

それはまごうことなき、我が敬愛する女王陛下の声だった。

「今朝はね、早く目が覚めてしまったから、少し風を浴びようかと思ったの。お邪魔だったかしら？」

いつの間に、と問うことはしない。

騎士女王陛下は、この世界のすべて。

いつ、いかなる場所であっても、すべてが陛下の手のひらの上なのだ。

無論、邪魔であるはずもなく、むしろふたりきりの時間という栄誉は、望外の喜びにほかならない。

「ふふつ、あなた、いつも返事が硬すぎるわ？」

そう言われても、陛下を相手に軟派な態度を取るわけにもいかない。

それでも、背中に感じる冷たい温もりに、押し殺すべき敬愛以上の念が首をもたげてしまうのは、どうしようないことだった。

「……気にしないで。あなたの忠義は、ちゃんと知っているから」

——しかし、

「今はふたりきりよ。それでいいでしょう？」

陛下の言葉に、心が解放されていく。

ああ、やはりこの御方こそ、我が理想の女性に違いない。

「ところで、気付いているかしら。あなたの領内で、かつての記憶を思い出してしまった星の騎士がいるみたいよ」

——それは、よくない。

実によくない。

恩義を忘れた騎士たちには、我が鉄槌を振り下ろさねば。

「それに、外の世界からは、三度目の襲撃も予想されている……。きっと今度も、無傷とはいかないわね」

——いいえ、いいえ、我が女王よ。

次なる戦いは、叙事詩に残る大勝といたしましょう。

この俺が剣を取り、星の騎士たちに引導を渡しましょう。

「あなたなら、そう言ってくれると思っていた」

女王陛下の声音は、紛れもなく、冷徹なる騎士女王としてのもの。自然と肉体に力がみなぎり、誇りと決意が心に熱を入れる。

「我が騎士、黒薔薇の騎士よ、此度の戦——あなたに預けます」

我らあかつきの騎士団。

——我が最愛のあなたに、勝利を！！

## 舞台「暗闇の世界よ、あかつきに染まれ」

常に我と共に在り、常に我と道を征く。

この願い叶える為ならば我は常闇に灯る明星となり、敵を穿つ一振りの刃となろう。

ドーンナイト  
あかつきの騎士たちよ、我が剣で暗闇を打ち払え！

## 概要

あかつきの騎士の意志に呼応して舞台は自在に姿を変え、戦いをあかつきの騎士にとって有利に変化させていくでしょう。

この舞台では、ドーンカウンターを与えられた騎士が、それを持つか手放すかを逡巡するような場面が生まれることを想定しています。

## セットルーチン

## ラウンド1・セット

名称	あかつきを背に
描写	あかつきの騎士は、ステラナイトへと剣を向ける。 次の瞬間、その切っ先から陽光のようなまばゆい光が閃くと、ステラナイトを包み込んだ！
効果	エネミーからもっとも遠いマスにいるステラナイト全てに「ドーンカウンター」を与える（同じ距離やマスに複数のステラナイトがいる場合、全員が対象となります）。 ドーンカウンター：このカウンターを持つステラナイトは、自身の行うアタック判定のダイスを常に1個増加する。 この効果は重複しない。 ステラナイトは、自身の耐久力を「2+[ラウンド数]」点減少させることで、いつでもドーンカウンターを1個取り除くことができる。

## ラウンド2・セット

名称	必勝の誓い
描写	あかつきの騎士は剣を構える。 祝福のように、騎士を中心として暖かい光が広がった。
効果	エネミーからもっとも近いマスにいる全てのステラナイトに「ドーンカウンター」を与える（同じ距離やマスに複数のステラナイトがいる場合、全員が対象となります）。

## ラウンド3・セット

ラウンド3以降のセットルーチンは存在しない。

## アクションルーチン

## No. 1

名称	絶対なる騎士女王
描写	騎士女王を称える声が舞台にこだまし、騎士の足をくませ、あかつきの騎士に力を与える。
効果	この効果が実行される時点で、エネミーの対角線上のガーデンと、隣接するガーデンにいる全てのステラナイトに【アタック判定：6ダイス】を行う。 このアタック判定の間、ドーンカウンターを所持するステラナイトの防御力は1低いものとして扱う（最低1）。

## No. 2

名称	畏怖の騎士団
描写	騎士女王の号令と共に、無数の光が騎士の形を取って、戦いの舞台を駆け巡った！
効果	この効果が実行される時点で、ガーデン1・2・5・6にいる全てのステラナイトに【アタック判定：5ダイス】を行う。 ドーンカウンターを誰も所持していない場合、このアクションルーチンの代わりにEXルーチンを実行する（監督はEXルーチンを続けて開示して下さい）。

## No. 3

名称	無慈悲なる鉄槌
描写	ステラナイトを包む光が歪み、熱を持った光線となって周囲へと拡散する！
効果	この効果が実行される時点で、ドーンカウンターを持つステラナイトがいるガーデンと、隣接するガーデンにいる全てのステラナイトに【アタック判定：6ダイス】を行う。 ドーンカウンターを誰も所持していない場合、このアクションルーチンの代わりにEXルーチンを実行する（監督はEXルーチンを続けて開示して下さい）。

## No. 4

名称	あかつき交わるとき
描写	まばゆい光が騎士女王の姿を象り、あかつきの騎士と呼応するようにステラナイトたちへ攻撃を仕掛けってきた！
効果	この効果が実行される時点で、ガーデン3・6にいる全てのステラナイトに【アタック判定：6ダイス】を行う。 その後、ガーデン1・4にいる全てのステラナイトに【アタック判定：「4+[ステラナイト全員の所持するドーンカウンターの数]」ダイス】を行う。

## EX

名称	新世界の閃き
描写	あかつきの騎士はひととき、与えられた「新世界」の剣の力を解き放つ。 その力を受けるものは、誰か。
効果	この効果が実行される時点で、ステラナイトのうちひとりが、この効果を受けることを宣言する（必ず誰かが宣言しなければいけません）。 そのステラナイトに【アタック判定：4ダイス】を行い、【アタック判定：5ダイス】を行い、【アタック判定：6ダイス】を行う。